



ツマに出会わないために



クマは本来、臆病な生きもの。
人とばったり出会うと、
驚いてとっさに手を出します。



ポイント
①

こちらの存在を早く知らせましょう。

- ・鈴や携帯ラジオなどを鳴らす。
- ・話しながら歩く など。

＊ 人に気づくとクマは逃げていきます。



ポイント
②

山に入るときは、なるべく複数人で行動しましょう。

ポイント
③

薄暗い時間帯に出歩く場合は、特に注意しましょう。

＊ クマは早朝や夕暮れどきによく活動します。



もし、ツマに出会った時は？

正しい対処方法

〔 クマと距離がある場合 〕

目を合わせたまま
ゆっくり後ずさりして
離れる



＊ 子グマに出会った時は、近くに親グマがいます。危険ですので、すぐに離れましょう。

うつ伏せになり
身を守る



＊ 首の後ろで両手を組み、顔や首、腹部をガードしましょう。

NG 行動

クマが人を襲う原因になります。



大声をだす



背中をみせて
逃げる

問合せ・連絡先

豊田市役所環境政策課 電話 34-6650

＊ 閉庁時の目撃情報は、代表番号 (31-1212) まで

ツキノワグマを目撃したり、痕跡をみつけた場合は、市役所や最寄りの支所、警察にご連絡ください。

令和3年10月発行 (令和8年8月改訂)

作成：豊田市役所環境政策課 作成協力：株式会社地域環境計画

写真提供：Honey Woods 中島拓 (電気柵) 岡島賢太郎 (ミツバチ)

本州、四国に生息。
イヌ以上に鼻がよく、
音にも敏感です。
足が速く、時速 40km
以上で走れます。
主食は植物ですが、
肉も食べます。

おとなのクマ



体重 80 ~ 130kg
体長 110 ~ 150cm

ツキノワグマ

近ごろ豊田市でも

ツキノワグマを見かけることが増えてきています。

なぜクマは、集落に出てくるのでしょうか？

クマの習性や、その生活を知って、

集落に寄せつけない方法を考えてみましょう。



ツマの暮らしと食べもの

クマたちは雪が降るころ、地面や大木の穴に入り、春が来るまで冬眠します。
厳しい冬を乗り切るために夏から秋にかけて、たくさん食べて栄養を貯えなければなりません。

春

食べもの

やわらかい
新緑の若芽や
花など



夏

繁殖期

食べもの

果実やハチ、アリなど



冬

何も食べない

メスは出産、授乳

冬眠



秋

たくさん食べて
冬眠の準備



食べもの

ドングリなどの
種子や果実



ツマが集落に
出てくる
理由

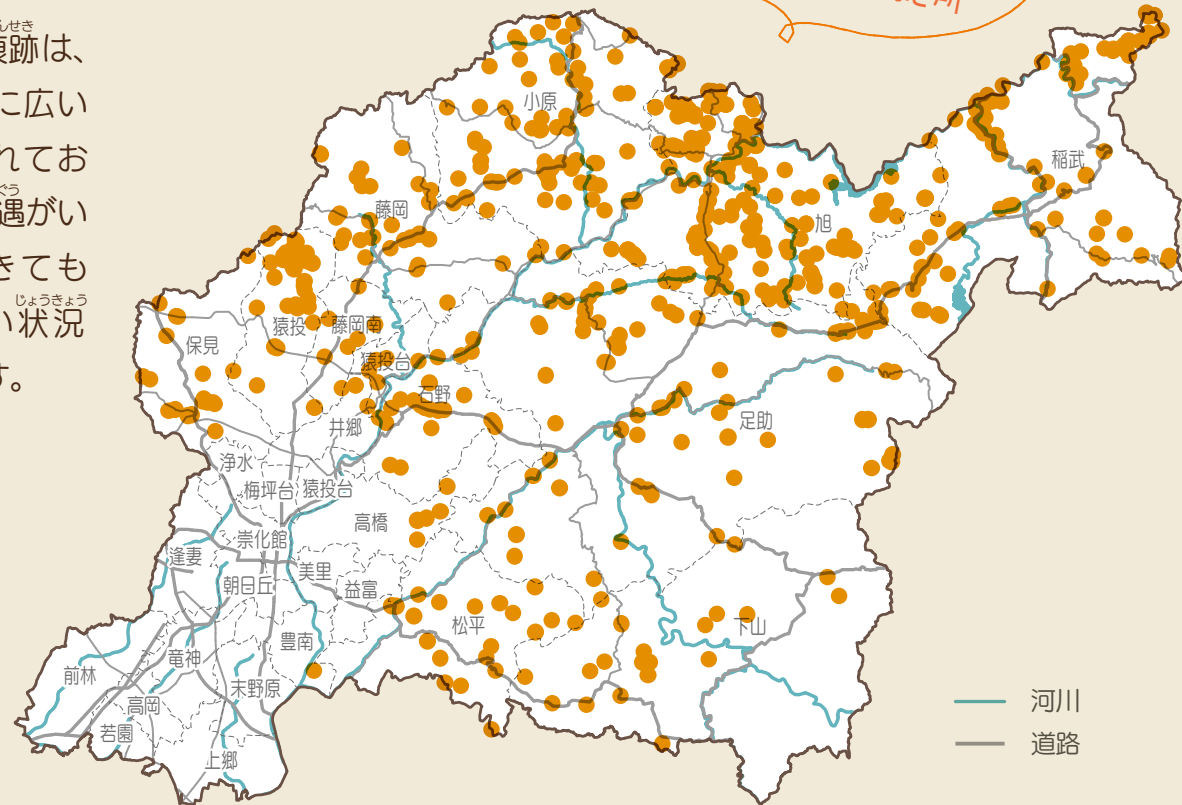
森に食べものがなかったり、
集落に美味しい食べものがあることが
わかると、クマは集落に現れます。





ツキノワグマが確認された所

クマの目撃・痕跡は、山村部を中心に広い地域で確認されており、クマとの遭遇がいつ、どこで起きても不思議ではない状況になっています。



2009～2025年
に確認された所

河川
道路

クマが残す痕跡は分かりやすく、見慣れるとすぐに発見できます。

痕跡でツマの接近を知る

足跡

大人の人の足と同じくらいの大きさです。前足が丸く、後ろ足が長く残ります。



前足



後足

糞

匂いのしない糞をまとめてします。種子や植物繊維を含むことが多いです。



柿の種子を含む



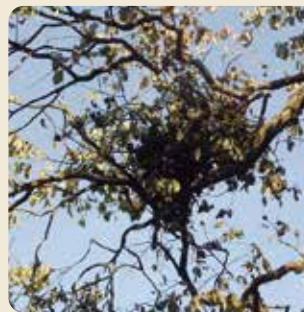
植物繊維を含む

* 糞は直径10～15cmほどの塊になります。

食痕

爪痕

柿の木などを登る時にできた5本指の大きな爪痕。



クマ棚

クマが樹上で果実や種子を食べた時に枝を折り重ねたもの。

クマハギ

木の皮をはいで内側の甘いところを食べた痕。縦長の歯形が残ります。



ツマを出没させない集落づくり

集落にクマが出没する原因をみんなで探して対策を立てましょう！

柿や栗などの果樹、廃棄野菜や農地を管理して、クマに食べものを与えないようにしましょう。クマが集落に近づかなければ、人身被害の危険も少なくなります。



クマの隠れ場所となる林縁の藪を刈り払ってなくしましょう。



クマはワイヤーメッシュやトタンを乗り越えます。

田畑は電気柵で囲うと効果的です。

廃棄野菜などは放置せず、蓋つきのコンポストに入れるなど、適切に管理しましょう。



果樹は早めに収穫するか、幹にトタンを巻いて守り、利用しない木は伐採しましょう。

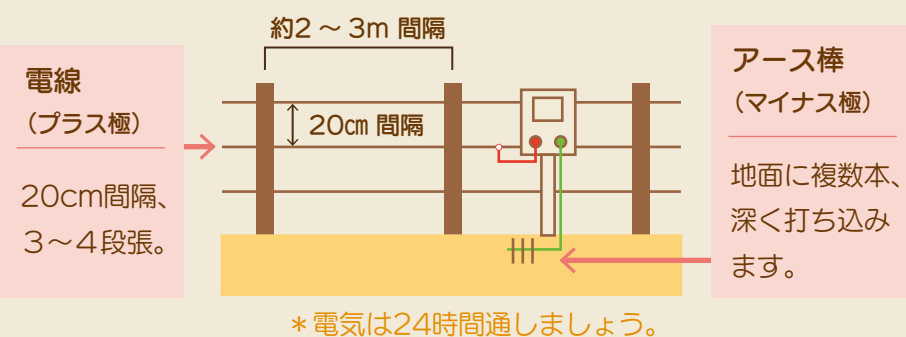


それぞれが取り組めるツマ対策

農地を守る

電気柵

安価で簡単に設置できます。適切な管理を行えば、とても効果があります。



クマはハチミツが大好き



ミツバチの巣箱は、電気柵で守ることができます。二重に設置すると電線に触れやすくなり、より効果的です。

果樹を守る

トタン巻き

柿の木、栗の木の管理

樹皮が十分隠れるようにトタンを巻きます。

高さは2m程度が理想です。手足が掛からないので、クマは登れず、果実を守れます。

